

くらサポ ニュース ^{NO.} 89

発行：地域福祉相談支援センター

2022/3/1

行田市でくらサポ利用 第1号、第2号



1月からスタートした行田市で2件の依頼がありました。

☆腰痛があり団地の3階に住んでいる方から、重い物を運ぶのが大変なのでお水や灯油を買って来て欲しいということで、早速サポートが行われました。利用者の方からは「とても助かった。また利用したい。次回は他のことでも頼みたい。」と喜んでいただけました。



☆支部で配布者をしている80代の方から。これから手術をするので前後でお風呂そうじをして欲しいという依頼がありました。事前に訪問して打ち合わせをして来ました。

お疲れ様でした

川口市のコーディネーター工藤節子さんが、3月末で交代されることになりました。利用者に寄り添い、地域のサポート活動をすすめることができました。ありがとうございました。



産後の家事支援の活動～富士見市～



私たちサポーターはいろいろ工夫して食事のメニューを考えて作りました。若い方の好みや味付けに合うかどうか心配でしたが、喜んでもらえて良かったです。中には、難しいなあと思うケースもあり、無理はせずに行えるサポートをしています。

サポートが終了してもお付き合いしています。引き続き赤ちゃんとお母さんを応援します。



コーディネーターとして、無理のない支援ができるように、近くに住むサポーターさんに声をかけて、4人のチームを組みました。



中村コーディネーター

2月に医療福祉生協連主催の組合員活動ウェブ企画「冬のあったか交流会」が開催されました。コロナ禍での助け合い～産後の家事支援について、富士見市の中村コーディネーターの活動を事務局が報告しました。左記は報告資料からの1枚です。



くらしサポーターは、感染防止を徹底したうえで、活動します。事前の体調確認、マスク着用、手洗い、消毒など感染予防の基本を励行します。なお新規の通院同行と他県に及び通院同行は当面の間、実施しません。



医療生協さいたま 地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692